

ミナミトゲヘリカメムシによるカンキツ被害の初確認

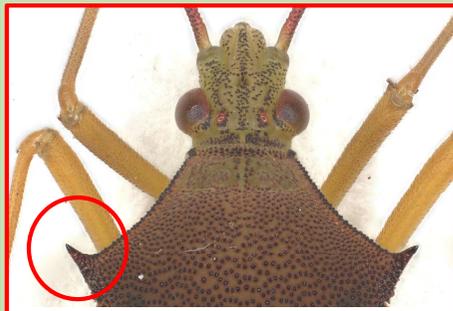
令和5年10月、松山市伊台地区のカンキツ園で**ミナミトゲヘリカメムシ**によるカンキツ被害が、県内で初めて確認された。
南方系のカメムシで、沖縄県や九州、三重県ではカンキツ被害が確認されていた。
また、他県ではカキやスモモ、アボカドなどの作物被害も報告されている。

【本種の特徴】

- ・ 体長は16～23mmの細長い大型のカメムシ。オオクモヘリカメムシと似ているが、前胸の形状で見分けることができる。
- ・ 寄主となる植物はシロモジ、クスノキなどのクスノキ科植物。

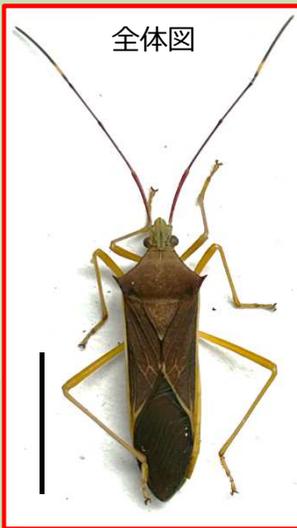
《近縁種との見分け方》

→ミナミトゲヘリカメムシは**大型**であり、**前胸部の側角が鋭くとがる**点で見分けられる。



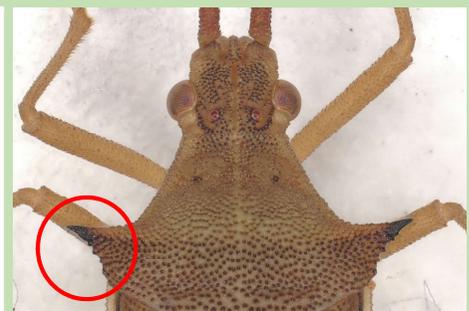
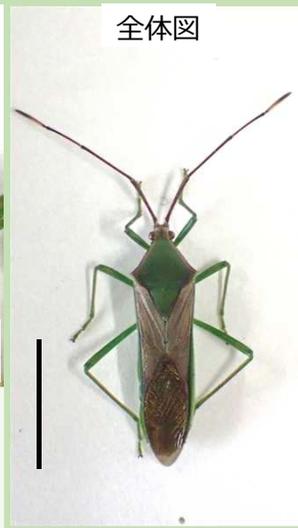
ミナミトゲヘリカメムシ

- ・ 体長が20mmほどになる**大型**
- ・ 前胸背の側角が強く**とがり棘状**になる
- ・ 体色が全体的に**褐色**



オオクモヘリカメムシ

- ・ 体長が20mmほどになる**大型**
- ・ 前胸背の側角が**とがる**
- ・ 体色が**緑色**で褐色の翅をもつ



ホソハリカメムシ

- ・ 体長が10mm程度で**小型**
- ・ 前胸背の側角が鋭くとがり、**先端が黒色**
- ・ 体色は全体的に**褐色**



※写真のスケールバーは全て10mm

- ・ 加害された果実では**異常着色・落果**が見られる



ミナミトゲヘリカメムシによるカンキツ被害

- ・ 被害果実を切断すると**ス上がり症状**がある



果実を吸汁するミナミトゲヘリカメムシ

《防除》

- ・ ネオニコチノイド系薬剤の**スタークル・アルバリン**顆粒水溶剤や合成ピレスロイド系薬剤の**テルスター水和剤**の殺虫効果が高い。
- ・ 発生を確認したらカメムシ類に適用のある登録薬剤を用いて防除を行う。